『お知らせ』
組合の様々な連絡、要望は本部事務局で承ります。
受付電話番号（ＦＡＸ兼用）
03-5808-9951（台東支部）
（担当：岩﨑・片岡）

自交・Km

第12号
２０１２年6月２５日
本部所在地：東京都千代田区
神田須田町1-7-1ウィン神田702
電話・ＦＡＸ03-5297-3555
Km労働組合　教宣部

●ホームページhttp://atukmunion.sa-suke.com/　ブログ：http://atukm.tou3.com/

共済会費：200円の不思議

給与支給明細書の控除項目欄に共済会費として200円が引かれています。この200円の使い道について正確に答えられる人がいますか？就業規則第10章福利厚生（福利厚生）第84条：会社は従業員ならびにその家族の福利・厚生の増進のために積極的に諸施策を進める。とあります。さらに第85条：前条の目的を達するため会社は連合福利共済会を設ける。②連合福利共済会の運営その他については、連合福利共済会規約で定める。とあります。

国際自動車（株）各社は、夏季レクと称してレクレーション活動を実施しています。
東西南北各社により実情は違うようですが、具体的例で示せば台東（営）、旧千住営業所では夏に日帰りのレクレーションを実施します。「夏季レク」は誰の主催なのでしょうか？会社の回答は「会社主催」です。

実態はどうでしょう！。「国際労働組合主催」です。Km労働組合の組合員の参加は拒否されています。会社は運営を国際労働組合へ丸投げしているのです。乗務員から集めた「共済会費」を使いながら個々の乗務員の所属組合で参加が拒否できるのでしょうか？
参加拒否の理由がKm労組の組合員が参加するのであれば「国労はリクレーションの運営をしない」と言っている。これが理由です。
旧千住営業所時代は「親和会」なる親睦会があり、国労と一体になり運営に参加していました。「親和会」は参加できないKm労組の組合員へ「返金」する措置で実施していたのが現状です。

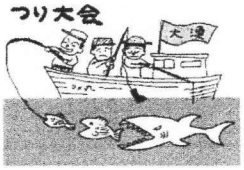
しかし、それは個々の「親和会」の運営の問題です。『連合福利共済会』はこの実態に対して何も対応していないのが実態です。

今回、Km労働組合は加盟組織の「南部ハイタク共闘会議」主催のレクレーション「地曳き網大会」に参加することになりました。この行事を機会に共済会の援助金（参加人員１名1,000円の協賛）を申請することになり今までの実態が明らかになりました。
「夏季レク」は、国際労働組合主催とばかり思われていた人がほとんどだと思います。

そもそも、就業規則に謳う「福利厚生」とは会社が行うことです。従業員（乗務員）から金銭を集めて「福利厚生」とはおこがましい限りです。
「共済会費」の会計報告など聞いたことがありません。「連合福利共済会」の会則を明らかにして明朗な運営をすべきです。会計報告は不可欠です。

乗務員に平等な「福利厚生」は当然です。

慶弔見舞金も「共済会」からの出費です。もし貴方のご両親の不幸に出された「香典」があったとすれば、それは貴方自身が出した「共済会費」なのかもしれません。
Km労働組合は、「連合福利共済会」の会則を明らかにして、その民主的運営を求めていきます。



食う寝る所に住む所

3党合意とやらで消費税増税が国会で決まりそうです。
税と社会保障の一体改革の名のもとに「増税」だけが一人歩きの「合意」です。
東日本大震災から1年と数ヶ月、減少続きの揚げ高も一息吐いた感じのする今日この頃ですが確実に冷水を掛ける事態になります。
消費税増税はタクシー業界を一撃します。過去の増税が実態を物語っています。
利用者の減少、揚げ高からは確実に増税分が引かれます。
国民の懐を暖める政策が求められる時に冷水とは・・・夏に向かって熱湯を浴びせられる様なものです。
密室での合意は国会を形骸化させています。国民の意志が反映される国会でなくてはなりません。
原発再稼働も国民的合意も無しに推し進められようとしています。
労働運動も企業内で留まっていては根本的な解決は出来ません。
産別に結集する私達自交総連は今こそ力を発揮すべき時です。
消費税増税にストップを！

素不徒

★南部ハイタク共闘会議主催★
団結ボウリング大会開催！

６月１２日（火）田町ハイレーンで団結ボウリング大会が開催されました。10単組71名の参加で、Ｋｍ労働組合は羽田、吉祥寺、赤羽、台東、各支部から、総勢11名の参加で熱戦を繰り広げました。

南部ハイタク共闘会議の片岡議長は「春闘も終盤で権利獲得に奮闘されご苦労様です。日頃のうっぷんをボールに託して、ピンを経営者に見立てて思い切り倒してください」と主催者挨拶。

優勝は天龍Ａチームで1141ピン（3名2ゲーム）。3連覇でした。

Ｋｍ労組の成績は団体戦では力及ばずでしたが、羽田支部の明石さんが飛賞をゲット。ストライクスロットでは吉祥寺の大関さんが賞をゲットしました。

ボウリング部（台東）部長は日頃の腕前が見られませんでした。団塊の世代の方々は何年振りにも関わらずそれなりのスコアーを出して、〇〇ても鯛は鯛と奮闘していました。初めて参加した台東支部のＩさんは「たまにはボウリングも健康にいいし楽しい」と話していました。

Ｋｍ労組（台東支部）にはボウリング部もあり、ゴルフ部をつくる話もあります。皆さんの参加をお待ちしています。

文化部：菊池

↑ 参加者 ↑

表彰式の パーティーで歓談する参加者

（撮影：菊池）

いつの間にか消えた安全担当（事故、渉外担当）

事故が起きたとき乗務員の身になって面倒を見てくれる存在がいつの間にかいなくなっています。専門的な知識を持ち相手方と交渉し過失割合など交渉を有利に運ぶ役目としても大切な存在でした。海千山千の保険会社を相手に当事者に代わって代弁してくれる貴重な存在だったのではないでしょうか？

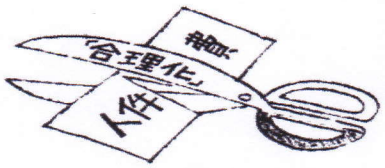
合理化の行きつく先は安全をないがしろにします。課長職が職務を代行するようですが、案件によっては長期間かかることも考えられます。継続的に、粘り強く交渉しなければ解決に至らないことも多々あります。結局しわ寄せは乗務員に来ます。早く解決しようとすれば相手の言い分を聞くことになりかねません。

手っ取り早いのは人件費の削減とばかりに必要部門の人間まで削減する無能さを指摘しない訳にはいきません。退職された安全担当が組合事務所へ挨拶に見えたとき話された内容が印象に残ります。「担当として事故の内容を分析して有責事故の減少に取り組みたかった。一年契約でなら力も発揮できるが、半年契約では次の仕事を考えながらの片手間仕事になってしまう。」結局本人の希望がかなえられなくて退職されたようです。

「安全」とは管理職の立場から乗務員を管理する目線で問題が解決するとは思えません。片手間で対応できる内容はそれだけの結果しか得られません。

専門家に対応させ専門家としての結果を要求することで「安全」を確保すべきでしょう。

（岩崎）



7月26日　地曳き網大会（鵠沼海岸）
詳細は後日発表

参加者大募集

参加費：組合員1,000円
家族（配偶者.親.子.孫）は無料
当日はマイクロバスの運用を決定。

バーベキューを開催
魚．魚．肉ときどき野菜
飲み物たっぷり？
お手伝いをお願いします。

●主な活動予定●
●７月18日～19日
東京地連夏季研究集会
●７月26日
地曳網大会（網上げ11時）
鵠沼海岸

●定例執行委員会の予定●
６月２９日　主な議題
①団体交渉の確認
②前回からの経過
③春闘の経過
④選挙管理規定等
⑤会計問題

★南部ハイタク共闘会議★
●総括会議：6月17日～18日●
小田急熱海リフレッシュクラブ
参加者
片岡台東支部長
明石羽田支部長代行

本部からお知らせ